



わたしも  
ひびく

タバコの害  
意識して  
いますか？

若い女性がタバコを吸いながら車を運転している姿をよく見かけます。女性に限ったことではありませんが、タバコの健康被害などについて皆さんどれくらい意識しているのでしょうか？特に、妊娠・出産を控えている若い女性には知っておいてほしいと思います。(鉄砲町・女性)



問い合わせ先 健康増進課 32・2069

としては、流産や早産、低出生体重児の問題などが挙げられます。タバコを吸っている妊婦は、吸わない妊婦より、1.5倍ほど自然流産や早産の可能性が高くなるようです。また、出生時の体重が2500g以下の低出生体重児が生まれる頻度は約2倍高くなること報告されています。このような影響は、タバコの煙に含まれるニコチンと一酸化炭素によって、胎児と胎盤系が低酸素状態になり、胎児の発育障害を引き起こされたものといわれています。早い段階で禁煙すれば、そのリスクは軽減されますが、妊娠にかかわらず、自分自身や周囲の人たちの健康のためにも、禁煙を心掛けましょう。

# わたしのおすすめ

## 街全体をアートしよう！



県民文化祭津山実行委員会委員長 茶室隆一さん(総社)

11月におかやま県民文化祭が津山市で開催されることになりました。テーマは「アートがまちを創る」。ソシオ一番街やアルネ・津山を中心に街全体をアートしてしまおうと、現在、実行委員会の皆で知恵を出し合っ、さまざまな催しや芸術作品の展示などを企画・準備しています。

これまでも、商店街を舞台とした催しは毎年開催していますが、今回の文化祭は今までにない「アッ」と驚くような仕掛けやアートでいっぱいになります。皆さん、大いに期待してください。『アート』というと身構えてしまいがちですが、誰でも生活のどこかに関わりがあるものです。この機会に、アートを身近に、遊び心や心のゆとり

を感じてほしいと思っています。また、まちなかにいろいろな人が集うことでできる人の輪、コミュニケーションの広がりも期待しています。皆さんの心に何かを残せるイベントにしていきたいですね。

**第6回おかやま県民文化祭 総合フェスティバル in 津山**  
～アートがまちを創る～

11/8(土)～9(日)  
ソシオ一番街、アルネ・津山

催し

- 総合フェスティバルメインセレモニー(合唱と洋舞の祭典)
- アート商店街(ハンカチアート・屋台アート)
- 食文化・生活文化祭(県下各地のうまいもの・食育コーナーも)

展示

- 書道展 11/6(木)～9(日)
- 華道展 11/8(土)～9(日)

※詳しくは10月号をご覧ください

問い合わせ先 文化振興課 32-2121

# 未来をひびく 津山人

## 体操の魅力、伝えたい

東京学芸大学准教授 水島宏一さん(加茂町百々出身)



88年のソウルオリンピックに出場し、体操競技団体総合銅メダルというすばらしい成績を収めた水島宏一さん。北京オリンピックには体操競技の映像アドバイザーとして同行されました。今回は、水島さんにオリンピックのこと、幼いころの思い出などを伺いました。

日本代表選手に選ばれた時は？  
全日本体操競技選手権大会などで2連勝したこともあり、確実に代表選手になれると思っていました。しかし、オリンピック2次予選の2カ月ぐらい前に、



▲加茂体操スポーツ少年団

ました。結果は4位でしたが、オリンピック大会で演技した中で最高の出来栄でした。体操を始めたきっかけは？  
体操を始めたのは、西宮市から加茂町に転校した小学3年生からです。それまではリトルリーグに入って野球をしていたのですが、こっちは野球が無く、小学校の体育館にいつも夜遅くまで電気がついていたので、気になって見に行きました。するとそこではお兄さんたちがトランポリンで宙返りやひねり、鉄棒で大車輪をしていました。『カッコいい』と、次の日には即入団。そのクラブが「加茂体操スポーツ少年団」です。クラブでの思い出は？  
入ってみると、くるくる回ったり、跳んだりすることはさせてもらえず、腕立て・懸垂・腹筋など基礎ばかり。つまらなくて2、3カ月でやめてしまいました。しかし数日後、校庭で遊んでいると指導者の宮内喜矩雄先生が近寄ってきて「どうして練習に来ない？」と聞くのです。「やめました」とわたしが答えると「誰が許可した！」と、もみあげを引っ張られ、そのまま

右腕の腱を切断してしまったのです。手術が必要だと言われましたが、手術をすればオリンピックどころか予選会にも出ることもできません。いろいろな病院をあたり、手術をしないでも済む方法を医師に相談してまわりました。このような危機を乗り越えたこともあり、代表権を獲得できた時は本当にうれしかったです。オリンピック本番では？  
その頃の日本は低迷期で、マスメディアでもいろいろと報道されていました。しかし、代表になった選手たちは「メダル獲得」という目標に向かって何の迷いもなく練習に励みました。合宿前半は最終種目のあん馬がなかなか成功せず苦戦しましたが、本番ではそのあん馬で大逆転(10点満点)し、3位の銅メダルを獲得することができました。種目別でもあん馬に出場し

体育館に連れて行かれました。そうして、今日のわたしがいるわけです(笑)。  
当時、器械器具のほとんどを先生方が個人で購入したり、高価なものは鉄工所の人と相談して作ってもらったりしていました。マットが破れると、畳針と糸で縫ったものです。  
練習は厳しく、基礎基本をしっかり教えてもらいました。しかし、厳しい練習のなかでも、休憩時間にはソフトボールをしたり、プールで泳いだりと、体操競技以外のことも思いっきり楽しみました。これらすべてがオリンピックにつながっていったと思っています。  
これからの目標は？  
現在、大学で運動学を中心に、「動き」についての研究をしています。体操競技の基本となる器械体操の教育に力を入れ、体操競技の普及に役立ちたいと考えています。

体操・加茂の伝統は全国、世界へと広がっているんですね。